

マララ・ユサフザイさん

ノーベル平和賞受賞スピーチ

昨年の12月10日にノベル平和賞の授賞式が開かれました。史上最少での受賞者となったパキスタン人のマララ・ユサフザイさん（17歳）の受賞スピーチの一部を紹介します。

……前半スピーチ略……
15年前、世界の指導者たちは「ミレニアム開発目標」を世界的な目標に決めました。その後の年月で、いくらかは進展しています。学校に行けない子どもの数は半分になりました。しかしながら、世界が重点的に取り組んでいるのは初等教育の拡充だけで、その進展は全ての人には届いていません。来年2015年には、

世界の目標になるでしょう。指導者たちは、無償で質の高い初等、中等教育を全ての子どもに保証するために、この機会をつかまなければなりません。

これは非現実的で、費用がかかりすぎる、難しすぎる、もしくは不可能と言う人もいます。

しかし、世界はより大きく（このことを）捉えるときです。
みなさん、いわゆる大人の世界ではこれは理解されるかも知れませんが、私たち子どもには理解できません。なぜ、「強国」と呼ばれる国々は、戦争を起こすことにはとても力強いのに、平和をもたらすことには弱いのでしょうか。なぜ、銃を与えることはとても簡単なのに、本を与えることはとても難しいのでしょうか。なぜ、戦車をつくることは簡単

なのに、学校を建てることは難しいのでしょうか。私たちは、21世紀という現代に生き、不可能なことは何もないと皆が信じています。私たちは、月に到達できるし、おそらく火星にもまもなく降り立つでしょう。そして、この21世紀において、全ての子どもたちが質の高い教育を受けられる夢の実現に向けて、私たちは決心しなくてはなりません。全ての人のために平等、正義、平和をもたらしましょう。政治家や世界の指導者だけでなく、私たちが貢献しなければなりません。これは私たちの義務なのです。

……後半スピーチ略……

引用 日本語訳は

「YOMURI ONLINE」より

市人権推進課(教育庁舎1階)
☎ 32・21122
FAX 33・3525
Mail: jinkensuisin@city.komatsushima.tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇(307) 松並敦子・選

歳末の掃除あきらめ臥しおれば壁の汚れがくつきりと浮く

江田町 深田 伴子

《評》昔ほど本格的ではなくとも新年を迎えるための大掃除は主婦としては欠かせない行事の一つである。しかし、体調を崩して寝込んで掃除どころではないと諦めたものの、寝ていると日頃気付かなかった壁の汚れが「くつきり」と浮いて見えてくる。この焦りと後ろめたさは手抜き主婦である私などいつも感じているものである。

わが遺影の用意まだまだと思いがそろそろと思いぬ母の忌近く

立江町 湯浅かや子

小春日をゆるり流れる神田瀬の川面に母校逆さに揺らぐ

小松島町 郡 雅和

銭の花満開なれどわが財布蕾も持たずふくらみもせず

横須町 三宅 敏恵

北風に頬を吹かれて散歩する何時まで続く犬との付き合

中田町 倉橋 正則

おめでとう今年もよろしく孫の一言にわれの存在思えて嬉し

櫛淵町 松下 玉枝

また一つわたしの生き甲斐増えました仲間に入りペタンク競技

坂野町 橋本千代乃

ブロッコリー半年かかりて収穫しまずは娘のところへ持ちゆく

立江町 森本 幸子

わが椅子を温める間もないひと日歩数の値万を超えたり

立江町 大西 和美

一つずつ階段降りくる音聞きてゆっくり雑煮の用意始める

小松島町 川人 豊子